

第 10 回施設建設選定部会（第 1 部会）

招集年月日	平成 25 年 1 月 30 日（水）					
招 集 場 所	南部総合福祉センター2 階会議室					
開 会 時 間	午前 14 時 00 分					
閉 会 時 間	午後 16 時 00 分					
出席員 及び 欠席委員  〔出席委員 11 名〕 〔欠席委員 1 名〕	委員 番号	氏 名	出 席 の 別	委員 番号	氏 名	出 席 の 別
	1	杉浦友平	○	7	慶留間清栄	○
	2	瀬長 満	○	8	上田規子	○
	3	與那嶺紘也	×	9	大城秀雄	○
	4	福島正惟	○	10	城間精善	○
	5	福地 斉	○	11	神山本聖	○
	6	崎原盛秀	○	12	玉城健一	○
会議に出席した 事務局の職・氏名	事務局長	知花賢正				
	係 長	知念正樹				
	主 任	新垣美智子				
その他会議に 出席した者	コンサルタント	沖縄チャンドラー				
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

## 第10回施設建設選定部会（第1部会）

### 会 議 録

#### 次 第

1. 開会あいさつ
2. 前回議事録(要旨)の確認

#### 【協議事項】

##### 1. 一般廃棄物最終処分場基本計画の策定について

- ① 進入道路は、どこに計画をしているのか。参考として説明してほしい。  
ルートは確定はしていないが、案としては予定地の東側（図面左側）を通るルートである。
- ② 図面から見ると出入口は全然付けられる状況ではないようだが。  
造成（切り盛り）して整備する考えである。
- ③ 図面左側からの市道は許容範囲を超えるのか。  
大型車両1台ぎりぎりの幅ですれ違いができない道路であり拡幅もできない。
- ④ 予定地の高低差はどうなっているのか。  
上（ストックヤードレベル）は56mで一番下が30mである。高低差26m。
- ⑤ 道路側の傾斜は8%だが、施設内搬入側（図面左側）も8%なのか。  
それぞれブロックごとに段差を造って擁壁を造る。各ブロック平地になる。
- ⑥ 敷地の周囲は一周道路で囲む形になるのか。右下の道路はどこに繋がるのか。  
囲む形をとる。国道に繋がる。
- ⑦ 道路は補助事業で整備するのか。  
南城市道として整備する予定である。
- ⑧ 予定地から国道までの距離はどれくらいか。  
予定地の敷地の長さが約280mである。それからすると、約200～300m程度である。
- ⑨ 今回の予定地では、1案の一体構造では難しいのか。敷地面積はいくらか。  
1万㎡である。技術的には問題ないが管理面などを考えるとブロックごとが良い。

- ⑩ 1案と2案では金額的にはどれくらい差が出るのか。  
概算ではあるが、4、5千万円程度。
- ⑪ 現地を視察して協議した方が良いのでは。  
現地視察を会議終了後実施する。
- ⑫ 現在の敷地の配置には選択肢が他にあるのか。北側に敷地の購入もできるのか。  
現在の敷地は堀川区に入っている。北側や東側になると前川区や當山区も入ってくる。  
用地取得においても現計画が良いと考える。
- ⑬ 北側に建設する場合でも一体構造ではなくブロック構造になるのか。  
北側になったとしても傾斜があるのでブロック構造が良いのではないか。また、跡地利用を考えた場合、一体構造だと継続性が難しくなる（安定化するまでは利用が厳しい）。ブロック構造であれば跡地利用も可能になると考えている。
- ⑭ 先行利用は具体的に地域から要望が出ているのか。それが出てこなければ今回の提案は決定できないのではないか。  
まだ地域とは、そこまで協議はしていない。
- ⑮ 簡易測量を入れてはどうか。それがなければ図面は描けないのではないか。  
地形図である程度高さは分かる。この図面はあくまでも造成をしての平均値で考えている。  
詳細については、現地を調査（測量・地質等）する必要がある。
- ⑯ 五区画に分けて建設する場合、最初に全部建設しないといけないのか、10年後にしか使わない施設は10年後に建設した方が長持ちするのではないか。
- ⑰ 今後の協議事項と日程はどう考えているのか。  
今回の協議事項と事業費を次回会議で決定していきたい。次回会議は2月中旬までには開催したい。

**【確認事項】**

今回の協議事項については、現地（予定地）を視察して次回会議で再度協議をする。  
次回会議には、各ケースの事業費も提示する。